



世界に誇る碧南市の

職員改善提案件数

碧南市の職員提案制度は昭和36年から実施しています。

私が市長になって以降、一貫して市役所と市職員の目的は「CS（市民満足度）とCP（コストパフォーマンス）＝費用対効果」の最大化である」と訴え、日常的な改善・改革を促してきました。その結果の1つとして、制度の中身は少しずつ変化していますが、職員提案件数は600件程度です。今後とも職員各自が、自発的により楽しく、生き生きと改善活動に取り組んでくれることを期待しています。

ちなみに、過去17年間の提案件数は平成12年度41件、13年度62件、14年度61件、15年度16件、16年度47件、17年度48件、18年度81件、19年度418件、20年度190件、21年度212件、22年度448件、23年度577件、24年度565件、25年度613件、26年度562件、27年度702件、28年度664件なので、6年連続500件超えとなりました。



28年度には実施済みで、金賞、銀賞、銅賞と評価された22件の提案の自己算定による経費削減効果額合計は約280万円でした。25年度は、実施済受賞提案30件の経費削減効果額合計は、約6千500万円、26年度は23件で約2千100万円、27年度は25件で約410万円でした。金額的には減ってきていますが、この4年間で約9千200万円削減したことになります。これは、毎年の経常的経費削減となり、小さな改善のようではありますが、長いあいだには数十億円の違いが出てきます。

この職員提案制度は単に経費を削減したり、収入を増やすことだけを目的としているわけではなく、同時に市民満足度や職場環境の改善も対象にしています。そういった意味からも効果は大きいと思います。多くの職員が日々改善意識を持って仕事をしているかそうではないか、年を重ねるに従って、大きな違いが出てきます。

碧南市の職員数当たりの改善提案件数は、大手民間企業などにはまだまだ及びませんが、国県市町村のなかでは世界に誇るレベルにあると自負しています。

平成29年度 衣浦衛生組合一般会計予算

衣浦衛生組合は、碧南市と高浜市で構成されています。主な事業と予算の概要をお知らせします。

問合せ 衣浦衛生組合事務局 ☎(41)3479

【主な事業】

- し尿処理（衛生センター）
 - ・各家庭から収集された、生し尿、浄化槽汚泥の処理
- ごみ処理（クリーンセンター衣浦）
 - ・各家庭から収集された、可燃ごみ、粗大・不燃ごみの処理
 - ・事業系のうち、一般廃棄物（ごみ）の処理
- ごみ再生処理（リサイクルプラザ）
 - ・まだ再利用できると判断された粗大ごみの展示・販売（入札など）
 - ・家庭にある不用品で、まだ使える物の出品・展示・販売（ショップ）
- 温水プールと浴場（お風呂）の運営（サン・ビレッジ衣浦）
 - ・クリーンセンター衣浦のごみ焼却余熱を利用した温水プール、風呂施設の運営
- 火葬場の運営（衣浦斎園）
 - ・待合・斎場棟にて規格葬儀の利用可

